

# 旭労災病院ニュース

病院情報誌 第 90 号 平成 25 年 5 月 1 日発行

発行所：旭労災病院

〒488-8885

尾張国守平子町北61番地

TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

<http://www.asahih.rofuku.go.jp/>

## サーファーズイヤーについて

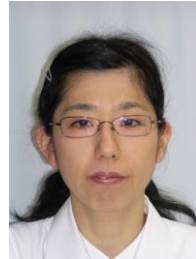


耳鼻咽喉科部長 三藤 泰史

サーファーズイヤー(外耳道外骨腫)は、外耳道に長期間冷水刺激が加わることにより、骨部外耳道の骨増殖隆起が生じた状態を言います。古くから、潜水夫や頻繁に水泳を行う者に多いことが知られていましたが、特にサーファーに好発することから、1977年に Seftel によって命名されました。この疾患は水上・水中スポーツ愛好家、職業ダイバーの他、サウナ愛好家にも認められることがあります。サウナ愛好家のなかには、サウナであたたまったあとに冷水に飛び込むことを習慣とする例があり、そのような場合にも外骨腫が形成されることがあるようです。サーフィン経験年数や頻度が多いほど、また水温の低い地域ほど高度な病変が形成されやすい傾向があります。初期には症状は乏しく、高度の外骨腫にいたっても難聴の訴えはほとんどありません。ただし、外耳道炎や耳垢貯留により外耳道が閉塞した場合は、急に伝音難聴をきたすことがあります。そのほか、外耳道から水が抜けにくい、寒冷刺激による耳痛・耳鳴・かゆみなどの訴えもありますが、必ずしも疾患の程度とは関連しないようです。鑑別診断として、色素性母斑、真珠腫、線維性骨異形成症、外耳道癌、耳下腺癌の外耳進展例などがあります。外耳道の狭窄が軽度で無症状であれば、手術の適応はありません。外耳道に 1/3 以上の狭窄があり、外耳道炎の反復や堆積した耳垢により耳閉鎖感が遷延するなどの症状を伴う場合は手術を考慮します。手術は、ノミ・バーを用いた骨削除操作が主体となります。予防は、耳栓を使用して外耳道への海水の浸入を防ぎ、風による蒸散熱の冷却効果を和らげることです。

# 石綿に関する健康管理手帳について

呼吸器科医師 太田 千晴

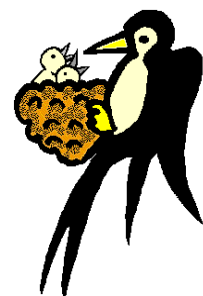


健康管理手帳は、がんその他重度の健康障害を生じる可能性がある業務のうち、一定の要件に該当する方に、離職の際または離職後に居住地の都道府県労働局長に申請し審査を経た上で、交付されます。交付を受けると、定められた項目による健康診断を年 2 回(じん肺の健康管理手帳については年 1 回)無料で受けることができます。

石綿に関する健康管理手帳の対象者は、石綿の製造や取り扱い業務(直接業務)に従事、及び直接業務に伴い石綿の粉じんを発散する作業場における直接業務以外の業務(周辺業務)に従事していた方です。交付要件は、(1)両肺野に石綿による不整形陰影があり、又は石綿による胸膜肥厚がある(直接業務又は周辺業務が該当)、(2)下記の作業に 1 年以上従事し、初めての石綿の粉じんにはばく露してから 10 年以上経過している(直接業務のみが該当) ・石綿の製造作業 ・石綿が使用されている保温材、耐火被覆材等の張付け、補修もしくは除去の作業 ・石綿の吹付けの作業又は石綿が吹き付けられた建築物、工作物等の解体・破砕等の作業、(3)(2)の作業以外の石綿を取り扱う作業に 10 年以上従事(直接業務のみが該当)、のいずれかに該当することです。

石綿による疾病として、中皮腫、肺がん、石綿肺、良性石綿胸水、びまん性胸膜肥厚の 5 つがありますが、いずれも石綿にはばく露してから発症するまでの期間が非常に長く、離職してからもこれらの発症がないかを定期的に見ていく必要があります。

胸膜肥厚や胸膜プラークが疑われる患者さんや石綿ばく露歴があるのではと心配をされている患者さんがおられましたら紹介していただくと幸いです。画像検査や職歴の聞き取りを行い、健康管理手帳の適応であれば、医事課とも協力し申請手続きのお手伝いをさせていただきます。また、一人親方などで手帳の対象外となる方には一般保険で手帳健診に準じた形で画像の定期チェックを行っております。



# 診療科着任の挨拶



耳鼻咽喉科部長  
さんとう やすし  
三藤 泰史

初めまして。1月より赴任いたしました三藤泰史と申します。  
旭労災病院は研修医時代から三年間お世話になった、とても思い出深い病院です。その後愛知医科大学病院、名古屋記念病院を経て、このたび縁あってまた働かせていただくことになりました。高齢化社会になり、難聴や嚥下障害といった耳鼻科関連疾患も今後増加すると思われます。甚だ未熟ではございますが、微力ながら少しでも地域医療に貢献できますよう精進してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。



整形外科兼  
リハビリテーション科医師  
たかた たくや  
高田 琢也

初めまして。2月より赴任いたしました高田琢也と申します。  
卒業後、愛知医科大学病院整形外科に入局し、当院赴任前は多治見市民病院で2年半勤め、主に地域医療に尽くしておりました。  
この地域においても、微力ではありますが、地域医療に助力できればと思っております。

ご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、精一杯頑張りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



外科医師  
うべ たいすけ  
馬場 泰輔

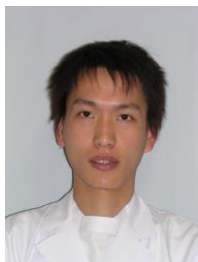
初めまして。平成24年10月から赴任しました馬場と申します。  
平成19年に名古屋大学を卒業後、春日井市民病院で初期研修を行いました。その後外科に入局してそのまま同病院で診療を行い、今回旭労災病院に赴任となっています。

当院に赴任して、取り扱っている症例が消化管疾患のみならず甲状腺・血管・呼吸器など非常に幅広いことに驚きました。私自身、新しく得るものがたくさんあり、日々楽しく診療させていただいています。外科スタッフがチーム一丸となり様々な症例の診療に携わりながら、ご紹介いただきました患者さまに満足していただけるよう日々成長していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



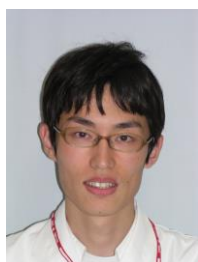
整形外科医師  
むらまつ よしたか  
村松 由崇

初めまして。1月より赴任いたしました村松由崇と申します。  
平成20年金沢医科大学を卒業し地元である愛知県に戻り、愛知医科大学病院で研修後同病院の整形外科に入局しました。  
平成24年度の1年間は多治見市民病院に勤めていました。まだまだ未熟者であり、ご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますが精一杯精進して参りたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



呼吸器科医師  
もり ゆうた  
森 祐太

初めまして。4月より呼吸器科に着任しました森祐太と申します。  
平成22年名古屋市立大学を卒業後、旭労災病院での初期研修、内科後期研修を経て、本年度より呼吸器科専攻医となりました。  
近年当院は初期研修、後期研修医の多い状態が続いており、やる気あふれる若手医師が多く活気があります。これまでも近隣の先生方に御紹介いただき勉強させていただいて参りましたが、少しでも地域医療に貢献できるように、今後研鑽を積んでいく所存であります。まだまだ若輩者でいろいろと御迷惑をおかけすることもあると思いますが、一生懸命頑張っております。よろしくお願いいたします。



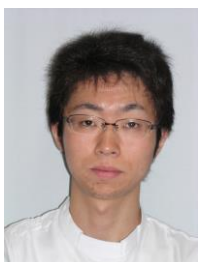
循環器科医師  
むとう けいすけ  
武藤 啓介

初めまして。4月より循環器科着任となりました武藤啓介と申します。  
平成22年に名古屋市立大学を卒業し、当院で初期研修、その後1年間の内科ローテーションを経て、本年度より循環器科専属となりました。  
これまで、研修で他院に行くことも何度かありましたが、当院は医師、コメディカル、事務職の連携が非常によく、風通しのいい病院であると感じております。そんな環境で4月から働けることに喜びを感じております。本業となる循環器領域とともに、救急、集中治療などの分野にも興味があります。当院も二次救急指定病院となり、これらの分野においても大病院、世界標準に引けをとらないレベルを目指して精進していきたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。



消化器科医師  
すずき えりな  
鈴木 恵里奈

平素より大変お世話になっております。今年度4月より消化器科のスタッフとして勤務しております、鈴木恵里奈と申します。  
3月までは内科系後期研修医として各科をローテーションしておりましたが、4月より消化器科医としての勤務が始まりました。今までのように救急外来や一般内科外来だけでなく、消化器科としての業務に携わり、地域の先生方との関わりの多さを感じると同時に、病診連携の必要さと大切さを実感しております。今の私にできることは非常に少なく未熟ではありますが、今後少しでも先生方の診療のお役に立てるよう精一杯がんばっていきたく思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



外科医師  
ふじた たける  
藤田 建

初めまして。昨年度より外科に配属になりました藤田建と申します。  
出身は北海道の函館です。函館に旅行に行かれる際には、おすすなら「鮭金本店」、ラーメンなら「あじさい(塩ラーメン)」、観光としては「北島三郎記念館」をおすすめします。夜景も有名ですが、天気がよく曇って見えなかったり、見えても写真でみたのとあまり大差ないため、おすすめはしません。趣味は、登山、パン作り、写真、旅行など外に出かけることがメインだったのですが、仕事上そう遠くへ行けなくなってしまったので最近ではテレビ観賞や居酒屋めぐりなど、インドアで不摂生な生活を送っております。  
外科医は体力！といいますが、守山スポーツセンターにも週2回ほど通っております。迅速・丁寧な診療を心がけております。よろしくお願いいたします。